

II 結果の概要

地域保健編

1 母子保健

(1) 妊娠届出の状況

平成22年度に市区町村に妊娠の届出をした者は1,119,490人で、妊娠週(月)数別にみると、「満11週以内(第3月以内)」に届出をした者が998,743人(89.2%)と最も多くなっている(表1)。

表1 妊娠届出の妊娠週(月)数別の状況

(単位:人)

		平成18年度 ¹⁾ (2006)	構成割合 (%)	19年度 (’07)	構成割合 (%)	20年度 (’08)	構成割合 (%)	21年度 (’09)	構成割合 (%)	22年度 ²⁾ (’10)	構成割合 (%)
総数		1 143 086	100.0	1 150 541	100.0	1 150 660	100.0	1 161 542	100.0	1 119 490	100.0
妊娠週 (月) 数	満11週以内 (第3月以内)	800 936	70.1	829 088	72.1	898 390	78.1	1 009 604	86.9	998 743	89.2
	満12～19週 (第4～5月)	295 687	25.9	286 009	24.9	220 597	19.2	124 832	10.7	96 380	8.6
	満20～27週 (第6～7月)	16 981	1.5	16 711	1.5	14 650	1.3	11 755	1.0	10 540	0.9
	満28週～分娩まで ³⁾ (第8月～分娩まで)	9 407	0.8	8 225	0.7	8 413	0.7	5 858	0.5	5 294	0.5
	分娩後	2 272	0.2	2 428	0.2
	不詳	13 966	1.2	10 508	0.9	8 610	0.7	7 221	0.6	6 105	0.5

注: 1)平成18年度については、妊娠週(月)数別の計数不詳の市区町村があるため、総数と妊娠週(月)数の計が一致しない。

2)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、24頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表1に掲載している。

3)平成20年度までの「満28週～分娩まで」には、分娩後に妊娠の届出をした者を含む。

(2) 妊産婦の健康診査の実施状況

平成22年度に市区町村が実施した妊産婦の一般健康診査の受診実人員は、「妊婦」1,276,956人、「産婦」65,442人となっている(表2)。

表2 妊産婦の健康診査の実施状況

(単位:人)

		平成18年度 (2006)	19年度 (’07)	20年度 (’08)	21年度 (’09)	22年度 ¹⁾ (’10)
妊 婦	一般健康診査受診実人員	1 196 079	1 245 871	1 380 415	1 304 583	1 276 956
	精密健康診査受診実人員	9 748	11 674	9 958	8 633	8 601
産 婦	一般健康診査受診実人員	62 994	59 460	65 616	66 590	65 442
	精密健康診査受診実人員	48	59	7	4	1

注: 1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、24頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表2に掲載している。

(3) 乳幼児の健康診査の実施状況

市区町村が実施した乳児の一般健康診査の受診実人員は、「3～5ヶ月児」が1,049,803人と最も多く、受診率は95.3%となっている(表3)。

市区町村が実施した平成22年度の幼児の一般健康診査の受診実人員は、「1歳6ヶ月児」1,023,680人、「3歳児」1,008,623人となっている。受診率は、「1歳6ヶ月児」94.0%、「3歳児」91.3%となっている。(表4)

表3 乳児の健康診査の実施状況

平成22(2010)年度

		1～2ヶ月児	3～5ヶ月児	6～8ヶ月児	9～12ヶ月児
乳 児	一般健康診査受診実人員(人)	261 421	1 049 803	376 995	730 355
	受診率(%) ¹⁾	84.1	95.3	82.3	82.1

注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

1)受診率=(一般健康診査受診実人員/健康診査対象人員)×100(計数不詳の市区町村を除く。)

表4 幼児の健康診査の実施状況

(単位:人)

			平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
幼 児	1歳 6ヶ月児	一般健康診査受診実人員	1 015 480	1 018 329	1 034 745	1 038 821	1 023 680
		受診率(%) ⁴⁾	92.5	93.4	93.7	93.5	94.0
		精密健康診査受診実人員	15 708	13 142	13 284	13 398	13 665
	3歳児	一般健康診査受診実人員	1 022 946	1 007 257	985 266	1 002 240	1 008 623
		受診率(%) ⁴⁾	89.5	90.1	90.8	90.8	91.3
		精密健康診査受診実人員	59 661	49 199	49 927	50 298	50 563
	4～6歳児 ²⁾	一般健康診査受診実人員	・	・	・	37 782	36 657
		受診率(%) ⁴⁾	・	・	・	75.5	71.8
		精密健康診査受診実人員	・	・	・	1 858	1 957
	その他 ²⁾ ³⁾	一般健康診査受診実人員	162 007	118 317	121 186	89 743	82 698
精密健康診査受診実人員		4 280	1 810	1 256	1 048	1 047	

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、24頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表3に掲載している。

2)「4～6歳児」及び「その他」は法定外の健康診査である。

3)平成20年度までの「その他」には、4～6歳児を含む。

4)受診率=(一般健康診査受診実人員/健康診査対象人員)×100(計数不詳の市区町村を除く。)

(4) 妊産婦・乳幼児の保健指導・訪問指導の実施状況

平成22年度に保健所及び市区町村が実施した妊産婦・乳幼児の保健指導の被指導実人員は、「妊婦」631,006人、「産婦」240,294人、「乳児」767,601人、「幼児」863,404人となっている(表5)。

表5 妊産婦・乳幼児保健指導の実施状況

(単位:人)

	被指導実人員				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
妊 婦	546 332	558 897	620 302	645 313	631 006
産 婦	209 045	209 702	235 097	239 390	240 294
乳 児	757 591	808 565	816 976	779 573	767 601
幼 児	837 077	848 536	855 306	856 434	863 404

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、25頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表4に掲載している。

平成22年度の訪問指導の被指導実人員は「産婦」651,181人が最も多く、次いで「乳児」499,184人となっている（表6）。

表6 妊産婦・乳幼児訪問指導の実施状況

(単位:人)

	被指導実人員				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
妊 婦	17 600	17 454	18 712	18 019	18 918
産 婦	396 232	469 808	550 425	614 949	651 181
新 生 児 ²⁾	214 375	253 778	270 793	273 798	261 906
未 熟 児	50 506	53 700	53 627	55 995	58 901
乳 児 ³⁾	225 694	273 395	357 262	449 954	499 184
幼 児	141 216	141 694	149 022	154 902	169 590

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、25頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表5に掲載している。

2)「新生児」は未熟児を除く。

3)「乳児」は新生児・未熟児を除く。

2 健康増進

平成22年度に保健所及び市区町村が実施した健康増進関係事業の被指導延人員は7,395,214人で、そのうち「栄養指導」が5,100,137人と最も多く、次いで「運動指導」が1,396,052人となっている（表7）。

対象区分別にみると、「栄養指導」では「乳幼児」が2,959,182人と最も多く、「運動指導」では「20歳以上」が1,339,287人と最も多くなっている（表8）。

表7 健康増進関係事業の内容別指導状況

(単位:人)

	被指導延人員				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
総 数	7 905 166	7 568 554	7 583 680	7 566 454	7 395 214
栄養指導	5 383 462	5 373 926	5 286 081	5 286 385	5 100 137
運動指導	1 714 958	1 431 045	1 476 149	1 393 383	1 396 052
休養指導	112 227	103 136	102 931	109 576	113 901
禁煙指導	308 038	273 237	299 648	305 144	303 145
その他	386 481	387 210	418 871	471 966	481 979

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、25頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表6に掲載している。

表8 健康増進関係事業の対象区分別指導状況

平成22(2010)年度

(単位:人)

	被指導延人員				
	総 数	妊産婦	乳幼児	20歳未満 ¹⁾	20歳以上 ²⁾
総 数	7 395 214	566 700	3 031 543	339 565	3 457 406
栄養指導	5 100 137	307 969	2 959 182	227 202	1 605 784
運動指導	1 396 052	40 092	•	16 673	1 339 287
休養指導	113 901	55 011	•	3 224	55 666
禁煙指導	303 145	103 534	•	75 752	123 859
その他	481 979	60 094	72 361	16 714	332 810

注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

1)「20歳未満」は妊産婦・乳幼児を除く。

2)「20歳以上」は妊産婦を除く。

3 歯科保健

平成 22 年度に保健所及び市区町村が実施した歯科健診・保健指導等の被指導等延人員は、「歯科健診・保健指導」4,508,560 人、「予防処置」2,280,515 人、「治療」14,840 人となっている（表 9）。

表 9 歯科健診・保健指導等の実施状況

(単位:人)

	被指導等延人員				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
歯科健診・保健指導	4 482 461	4 595 416	4 561 912	4 564 349	4 508 560
予 防 処 置	2 293 236	2 402 210	2 454 507	2 543 223	2 280 515
治 療	14 366	14 581	11 857	18 540	14 840

注：訪問によるものを除く。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、25頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表7に掲載している。

4 精神保健福祉

平成 22 年度の保健所及び市区町村における精神保健福祉の相談等延人員は、「相談」797,761 人、「デイ・ケア」157,995 人、「訪問指導」320,359 人、「電話相談」1,168,238 人、「メール相談」11,298 人となっている（表 10）。

「相談」の内容別にみると、「社会復帰」が255,560 人と最も多くなっている（表 11）。

表 10 精神保健福祉の相談等の実施状況

(単位:人)

	相談等延人員				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
相 談	758 906	778 171	768 191	818 480	797 761
デ イ ・ ケ ア	288 927	235 170	209 004	192 214	157 995
訪 問 指 導	340 139	332 810	332 613	318 456	320 359
電 話 相 談	1 027 257	1 093 086	1 113 734	1 142 923	1 168 238
メ ー ル 相 談	・	6 863	7 199	7 729	11 298

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、26頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表8に掲載している。

表 11 精神保健福祉の相談の内容別延人員

(単位:人)

		延人員				
		平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
相 談 の 内 容	相 談	758 906	778 171	768 191	818 480	797 761
	老人精神保健	44 393	41 857	39 967	39 774	36 548
	社会復帰	245 852	249 524	247 720	264 201	255 560
	アルコール	36 561	38 485	34 414	35 697	33 617
	薬物	6 194	7 177	5 754	7 268	5 608
	思春期	20 082	18 528	18 086	18 422	16 954
	心の健康づくり	62 669	70 991	72 166	81 493	90 556
その他	343 155	351 609	350 084	371 625	358 918	
(再 掲)	ひきこもり	25 124	22 924	26 152	26 640	28 873
	自殺関連	6 216	6 617	7 988	10 334	11 638
	自殺者の遺族	・	・	885	896	998
	犯罪被害	・	647	588	613	702

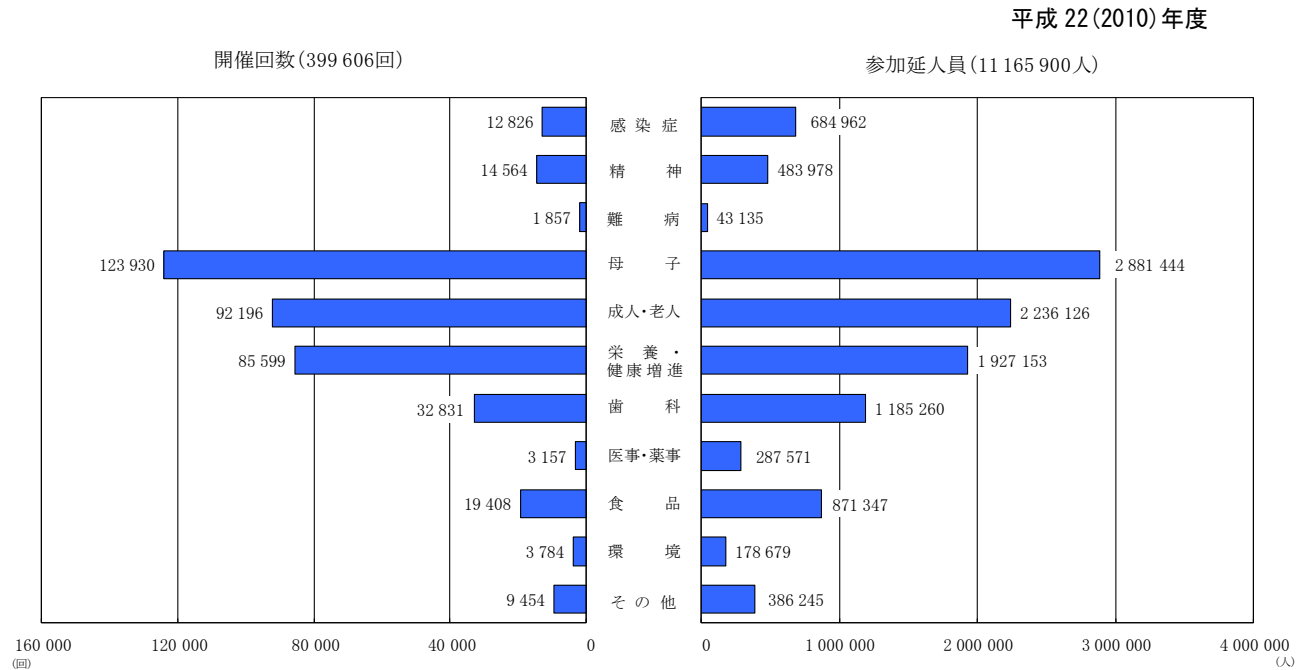
注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、26頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表9に掲載している。

5 衛生教育

保健所及び市区町村が実施した衛生教育の開催回数は 399,606 回、参加延人員は 11,165,900 人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「母子」「成人・老人」「栄養・健康増進」が多くなっている。(図1)

図1 衛生教育の実施状況



注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

6 エイズ

平成 22 年度の保健所が受けたエイズに関する相談件数は、「電話相談」55,974 件、「来所相談」88,433 件となっている。

保健所が実施したH I V抗体スクリーニング検査のための採血件数は 105,783 件、スクリーニング検査後の確認検査においてH I V抗体反応が陽性であったものは 302 件となっている。(表 12)

表 12 エイズに関する相談・検査及び衛生教育開催状況

(単位:件)

		平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
相談件数	電話相談	66 871	78 157	78 537	61 075	55 974
	来所相談	95 109	116 927	120 856	96 022	88 433
HIV抗体検査のための採血件数	スクリーニング検査	102 878	133 403	147 372	111 234	105 783
	確認検査 ²⁾	789	638	869	949	590
	陽性件数	272	302	319	280	302
	陽性であった割合(%) ³⁾	2.64	2.26	2.16	2.52	2.85
衛生教育開催回数(回)		3 118	2 690	2 275	1 919	1 939

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の保健所が含まれていない。なお、宮城県の全域を除いた前年度との比較は、26頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表10に掲載している。

2)「確認検査」とは、スクリーニング検査でH I V抗体反応が陽性・疑陽性であった者に対して行う検査である。

3)陽性であった割合＝(確認検査の陽性件数/スクリーニング検査件数)×1,000

7 予防接種

平成22年度に市区町村が実施した定期の予防接種の接種者数は、「インフルエンザ」が15,644,780人、「日本脳炎」の第1期の初回接種の第1回が1,839,869人となっている（表13）。

表13 定期の予防接種の実施状況

(単位:人)

				平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	
沈降精製百日せき ジフテリア破傷風 混合ワクチン使用 (DPT) ²⁾	第1期	初回接種	第1回	1 091 985	1 124 060	1 137 541	1 108 364	1 101 885	
			第2回	1 085 041	1 120 843	1 129 399	1 106 420	1 088 952	
			第3回	1 058 435	1 115 715	1 127 047	1 101 601	1 076 913	
		追加接種			986 621	1 023 902	1 084 304	1 071 111	1 114 639
沈降ジフテリア破傷風 混合トキソイド使用(DT) ³⁾	第1期	初回接種	第1回	.	.	.	456	365	
			第2回	.	.	.	435	379	
		追加接種			.	.	.	469	1 237
		第2期			783 059	797 924	893 773	890 542	928 201
急性灰白髄炎 (ポリオ) ⁴⁾	第1回			1 039 217	1 043 463	1 072 094	1 040 278	1 035 074	
	第2回			1 015 163	1 020 080	1 056 754	979 090	1 040 575	
日本脳炎 ⁵⁾	第1期	初回接種	第1回	45 158	149 918	232 264	656 048	1 839 869	
			第2回	40 684	145 227	228 404	585 010	1 735 636	
		追加接種			38 495	77 233	123 470	167 511	516 065
		第2期			17 084	46 434	82 493	118 202	276 611
麻しん・風しん ⁶⁾	第1期			1 067 057	1 081 305	1 032 207	1 030 213	1 023 033	
	第2期			938 151	1 044 316	1 060 604	1 043 755	1 008 886	
	第3期			.	.	1 005 327	1 019 723	1 018 812	
	第4期			.	.	937 906	931 624	930 981	
インフルエンザ ⁷⁾	総 数			13 064 354	14 809 144	15 761 015	14 365 384	15 644 780	
	60歳以上65歳未満			61 250	65 898	33 391	33 850	48 085	
	65歳以上			13 003 104	14 743 246	15 727 624	14 331 534	15 596 695	
BCG ⁸⁾	総 数			978 075	1 089 333	1 067 437	1 014 770	990 964	
	6ヶ月未満			960 858	1 077 104	1 056 024	1 004 236	984 378	
	6ヶ月以上1歳未満			17 217	12 229	11 413	10 534	6 586	

注：1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、27頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表11に掲載している。

2) 「沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン使用（DPT）」の第1期の初回接種は、生後3～90月未満を対象に20～56日までの間隔において3回、追加接種は、初回接種終了後6月以上の間隔において1回行われる。

3) 「沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド使用（DT）」の第1期の初回接種は、生後3～90月未満を対象に20～56日までの間隔において2回、追加接種は、初回接種終了後12月に達した時から18月に達するまでの間隔において1回行われ、第2期は、11～13歳未満を対象に1回行われる。

4) 「急性灰白髄炎（ポリオ）」は、生後3～90月未満を対象に41日以上の間隔において2回行われる。

5) 「日本脳炎」の第1期の初回接種は、生後6～90月未満を対象に6～28日までの間隔において2回、追加接種は、初回接種終了後概ね1年後に1回行われ、第2期は、9～13歳未満を対象に1回行われる。なお、平成17年度より予防接種の積極的な接種を差し控えていたが、平成22年度から再開された。

6) 「麻しん・風しん」の第1期は、生後12～24月未満、第2期は、5歳以上7歳未満の者であって小学校就学前の1年間にある者を対象に1回行われる。第3期は、13歳、第4期は、18歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日にある者を対象に1回行われる。ただし、第3期・第4期は、既に罹患したことが確実な者及びそれぞれの予防接種を2回接種した者を除く。また、「麻しん・風しん」は、「麻しん・風しん（混合）」、「麻しん（単抗原）」のみ、「風しん（単抗原）」のみ、「麻しん（単抗原）」と風しん（単抗原）」を合わせたものである。

7) 「インフルエンザ」は、65歳以上の者及び60歳以上65歳未満であって、心臓、じん臓又は呼吸器の機能等に障害を有する者を対象に1回行われる。

8) 「BCG」は、生後6月に至るまでの間に行われる。ただし、特別の事情等によりやむを得ない場合は生後1歳に至るまでの間に行われる。

8 職員の配置状況

(1) 常勤職員の配置状況

平成22年度末現在の保健所及び市区町村の地域保健事業に関わる常勤職員の配置状況をみると、「(14)保健師」23,900人が最も多く、次いで「(04)薬剤師」2,979人、「(12)管理栄養士」2,797人、「(03)獣医師」2,457人となっている。

それぞれの分野の相談員、監視員等（＜再掲＞(19)～(24)）をみると、「(24)医療監視員」7,551人が最も多く、次いで「(22)食品衛生監視員」5,310人、「(23)環境衛生監視員」4,569人となっている。（表14）

表14 職種別にみた常勤職員の配置状況

		各年度末現在				
		平成21年度 (2009)	22年度 ¹⁾ ('10)	都道府県が 設置する 保健所	政令市・ 特別区 ²⁾	政令市・ 特別区 以外の 市町村
合 計		54 552	52 685	14 607	18 351	19 727
(01)	医 師	1 046	1 028	451	496	81
(02)	歯科医師	130	119	45	54	20
(03)	獣医師	2 492	2 457	1 356	1 101	-
(04)	薬剤師	3 022	2 979	1 711	1 263	5
(05)	理学療法士	191	182	15	63	104
(06)	作業療法士	114	120	20	42	58
(07)	歯科衛生士	742	707	110	311	286
(08)	診療放射線技師	656	632	347	266	19
(09)	診療エックス線技師	27	30	18	12	-
(10)	臨床検査技師	869	841	522	306	13
(11)	衛生検査技師	122	82	34	46	2
(12)	管理栄養士	3 000	2 797	600	646	1 551
(13)	栄養士	837	687	40	124	523
(14)	保健師	24 444	23 900	3 640	6 081	14 179
(15)	助産師	136	116	13	50	53
(16)	看護師	1 012	969	93	242	634
(17)	准看護師	292	221	2	24	195
(18)	その他	15 420	14 818	5 590	7 224	2 004
＜再掲＞ ³⁾						
(19)	精神保健福祉士	1 174	1 091	469	322	300
(20)	精神保健福祉相談員	1 506	1 572	860	687	25
(21)	栄養指導員	1 147	1 127	602	522	3
(22)	食品衛生監視員	5 273	5 310	2 740	2 570	-
(23)	環境衛生監視員	4 358	4 569	2 596	1 973	-
(24)	医療監視員	7 651	7 551	5 432	2 119	-

注：1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、28頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表12に掲載している。

2)「政令市・特別区」には、設置する保健所を含む。

3)「(19)精神保健福祉士～(24)医療監視員」は、「(01)医師～(18)その他」の再掲である。

(2) 常勤保健師の配置状況

平成22年度末現在の保健所及び市区町村における常勤保健師の配置状況を人口10万対で見ると、全国では19.1人となっている(表15、図2)。

表15 都道府県別にみた常勤保健師数

平成22(2010)年度末現在

(単位:人)

	常勤保健師数	常勤保健師数(人口10万対)		
		総数	政令市・特別区 ¹⁾	政令市・特別区以外
全 国	²⁾ 23 900	³⁾ 19.1	11.5	³⁾ 24.6
北 海 道	1 419	25.8	9.0	41.6
青 森	371	26.6	8.9	31.5
岩 手	²⁾ 329	³⁾ 27.5	13.4	³⁾ 32.1
宮 城	²⁾ 117	³⁾ …	11.6	³⁾ …
秋 田	307	28.0	11.8	34.7
山 形	309	26.4	・	26.4
福 島	²⁾ 458	³⁾ 25.6	9.6	³⁾ 35.4
茨 城	533	17.9	・	17.9
栃 木	420	21.0	13.4	23.6
群 馬	444	22.2	19.1	22.8
埼 玉	942	13.2	11.6	13.6
千 葉	967	15.7	10.8	17.9
東 京	1 566	12.4	10.5	17.0
神 奈 川	994	11.2	9.5	15.7
新 潟	621	26.1	15.7	31.4
富 山	270	24.7	19.2	28.1
石 川	281	24.2	11.0	32.4
福 井	199	24.7	・	24.7
山 梨	309	35.9	・	35.9
長 野	672	31.2	19.5	33.7
岐 阜	501	24.1	17.1	25.9
静 岡	750	19.9	15.0	23.3
愛 知	1 060	14.6	11.0	17.7
三 重	385	20.9	8.2	23.4
滋 賀	382	27.5	16.1	31.0
京 都	575	22.6	15.3	31.2
大 阪	1 190	13.7	11.6	15.7
兵 庫	847	15.2	10.6	20.4
奈 良	298	21.2	13.7	23.8
和 歌 山	315	30.7	12.4	41.4
鳥 取	182	30.7	・	30.7
島 根	265	36.9	・	36.9
岡 山	492	25.4	14.3	42.4
広 島	530	18.6	13.1	29.1
山 口	349	24.0	17.5	25.5
徳 島	233	29.4	・	29.4
香 川	223	22.1	14.4	27.7
愛 媛	360	24.8	10.3	32.8
高 知	226	29.5	4.7	49.1
福 岡	773	15.3	10.9	20.9
佐 賀	230	26.9	・	26.9
長 崎	334	23.2	10.9	35.0
熊 本	486	26.6	16.3	33.3
大 分	320	26.6	13.1	35.3
宮 崎	286	24.9	12.0	31.9
鹿 児 島	440	25.7	10.9	33.7
沖 縄	340	24.1	・	24.1

注:1)「政令市・特別区」には、設置する保健所を含む。

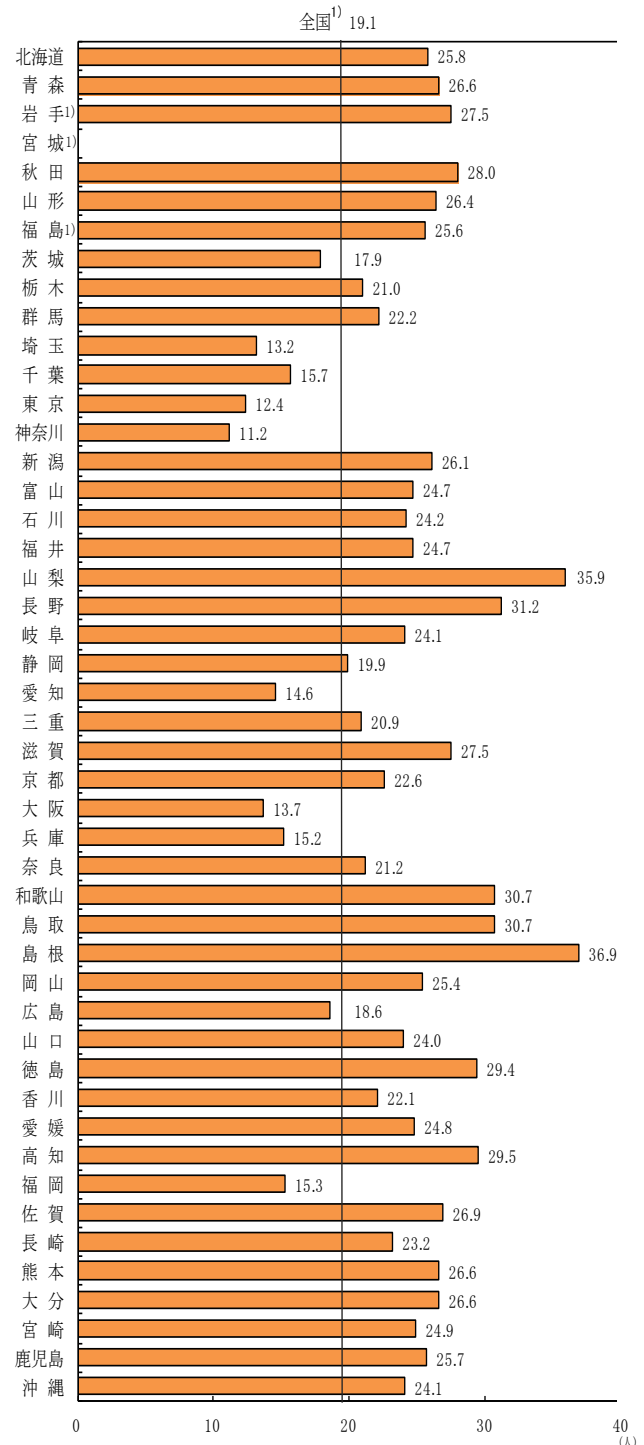
2)東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

3)人口10万対の比率については、東日本大震災の影響により、2)の市町村を除いて算出している。また、宮城県については、「総数」及び「政令市・特別区以外」の算出を行っていない。

図2 都道府県別にみた常勤保健師数

(人口10万対)

平成22(2010)年度末現在



注:1)人口10万対の比率については、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)を除いて算出している。また、宮城県については算出を行っていない。